

第26回大分県民芸術文化祭ジャンル別行事
渡邊智道プロデュース×コンパルホール 舞台

天の花

2024 **11.17** SUN

開場 13:30 開演 14:00 (16:00 終演予定)
コンパルホール1F 文化ホール

全席自由 前売 3,500 円 当日 4,000 円

小学生以上入場可 (未就学児のご入場はご遠慮ください)

車椅子席 2,000 円 ※要事前予約

〈チケット販売中〉 前売券取扱

コンパルホール (9:00-17:00 ※休館日を除く)

トキハ会館プレイガイド/エトウ南海堂

ローンチケット (Lコード:81996)

—全編作詞作曲・脚本・演出・総合プロデュース—

渡邊智道

—出演—

工藤丈輝 (舞踏) / 高椋隆寛 (芝居) / 広瀬道子 (芝居)

嘉月沙英 (歌)

—合唱—

新見準平 (指揮/合唱指導)

コンパルホール「天の花」市民合唱団

—弦楽—

朝来桂一 (1stヴァイオリン) / 釜口和実 (2ndヴァイオリン)

長石篤志 (ヴィオラ) / 宇野健太 (チェロ)

—ピアノ—

渡邊智道

〈主催〉コンパルホール

〈共催〉大分県民芸術文化祭実行委員会

〈後援〉大分市教育委員会 / NPO 法人大分県芸術 / 大分合同新聞社

OBS 大分放送 / TOS テレビ大分 / OAB 大分朝日放送 / エフエム大分

J:COM 大分ケーブルテレコム / ゆふいんラジオ局 / 月刊・シティ情報おおい

〈お問合せ〉コンパルホール

〒870-0021 大分市府内町 1-5-38 TEL.097-538-3700

お問合せ時間 9:00-17:00 ※休館日を除く



[HP]



[instagram]

天の花

2024 11.17 SUN

脚本、演出、作詞作曲、全編にわたって渡邊智道が初めて手掛ける、アンブラグド音楽劇「天の花」出演は、大分初上演の舞踏家 工藤丈輝をはじめ、芝居、独唱、弦楽、ピアノ——確かな実力を持つ面々が顔を揃える。また、この日のために集結した新見準平 指導指揮による市民合唱団も、渾身の歌声を届ける。

へ生まれ変わったなら あの花のように
美しく咲いて あなたへ微笑むよ

誰も知らない、誰も見たことがない、「天の花」は存在するのか？
舞台をみて、あなたの答えを見つけていただきたい。



舞踏
工藤 丈輝
くどう たけてる

仙台市出身。慶応義塾大学仏文科卒。在学中より舞台活動を始めるが、舞踏との出遭いが以後の針路を決定づける。渡米して玉野黄市に師事。和栗由紀夫作品に出演ののち、ソロ活動を始める。'90年代後半に山海塾に参加。元藤澤子主宰のアスベスト館ではその封印まで舞踏手のみならず振付まで手がける。近年はソロを主軸に各国を公演、ワークショップして回る。近作に「鮎玉☆爆弾」、「嘘の剃刀」、「共犯的戯レゴト」などがある。過去、舞踊批評家協会賞、ロシア国家の舞台芸術賞「ゴールデンマスク」などを受賞している。



芝居
広瀬 道子
ひろせ みちこ

大分市出身。1980年代は東京でバンド活動。アイドルデュオのバックコーラスや、ビートたけし氏に詞を提供する。1990年にラジオDJとなり、FM大分、CROSS FM、FM大阪で生レギュラーを持つ。中でもFM大阪は、毎週7時間の生放送「COUNT DOWN KANSAI」の初代DJに抜擢され、福山雅治氏のレコーディングにもDJとして参加した。大分トリニータJ1昇格初年度スタジアムDJを務め、声がニュースステーションで話題に。2013年OBS大分放送でラジオ番組がスタート(継続中)。同年、J:COM ホルトホール大分の市民ミュージカルに参加し、役者として初舞台を踏む。以降、広報番組や舞台上で経験を積み、2024年、映画「52ヘルツのクジラたち」では、オーディションを経て、杉咲花氏の祖母キヨ子に選ばれた。この他、音楽イベントのプロデュース、自身のアパレルブランド「いろ＊うず」の立ち上げ等、幅広く活躍している。



芝居
高椋 隆寛
たかむく たかひろ

劇団officeせんせいしよん主宰。有限会社音や、プロ養成/基礎クラスを受講。以来CMナレーター、番組ナレーター等で活躍。演劇活動ではワークショップ活動、演技指導など多岐にわたり活動。豊後 FUNAI ミュージカル「キズナのメダイ」「ぼくたちは星空のした。」演技指導、「蒼天の彼方に凜と咲く。」演技監修、「コンパルホール音楽劇リーダーズシアター」にて朗読指導、出演、他。主な出演番組/もっし!(OAB)ナレーション・旬感3ch(OBS)ナレーション・OITAマイスター(FM大分)梅太郎おじいちゃん役・大分の宝摩彦(J:COM大分ケーブルテレコム)ナレーション。主なCMナレーション/Audi大分CM・ハウジングトップCM・アフリカンサファリCM・他多数。



歌
嘉月 沙英
かつき さえ

大分県立芸術緑丘高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。第67回大分県高等学校音楽コンクール声楽部門第2位。第71回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール優秀賞。第71回全日本学生音楽コンクール北九州大会声楽部門高校の部入賞。これまでに声楽を安部洋子、佐々木典子の各氏に師事。



1stヴァイオリン
朝来 桂一
あさき けいいち

大分市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。在学中より演奏活動を開始、東京ヴィヴァルディ合奏団創立50周年記念シリーズ、詩人谷川俊太郎氏等による「voicespace」各メンバーとして参画。第1回、第11回、第20回記念別府アルゲリッチ音楽祭、アスペン音楽祭(アメリカ)ソフィア音楽週間(東欧)など国内外の音楽祭に招待され出演。これまでに第1回五嶋みどりレクチャーコンサート、クラシック音楽を題材とした映画「マエストロ!」などに劇中出演。ほか落語家・桂木園治「おべらくご」九州初披露公演舞台音楽を手掛けた。2022年度よりRENTARO室内オーケストラ九州(ミュージックパートナー古澤巖/一般社団法人九州シティフィルハーモニー協会)コンサートマスターに就任。2024年度にはヨーロッパツアーに参加、ソリストとしてドナウ交響楽団(ハンガリー)ヴァツァ交響楽団(ブルガリア)と共演。



2ndヴァイオリン
笠口 和実
うげぐち なごみ

大分県出身。大分県立芸術緑丘高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を卒業。これまでに河村雅絵、川瀬麻由美、豊崎泰嗣の各氏に師事。iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラに初年度より約8年間所属。現在は大分を中心に九州各地で演奏活動を行う傍ら後進の育成を行う。大分県立芸術文化短期大学オーケストラ演奏員、iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラアカデミー講師。その他にも大分県出身メンバーからなる箏、ヴァイオリン、チェロの三重奏団「水無月」のメンバーとしても日々活動を行っている。



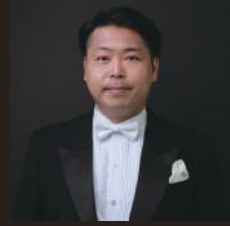
ヴィオラ
長石 篤志
ながいし あつし

大分県出身。4歳よりヴァイオリンを始め、第24回及び第27回大分県音楽コンクールで第1位を受賞。福岡教育大学芸術コース卒業、同大学院卒業。フィレンツェへの留学を機にヴィオラへ転向。フィエーゾレ音楽院にてアントネッロ・ファルリに師事する。帰国後は東京に拠点を移し、ドラマや映画、アニメ、CD、CM等のレコーディングに数多く関わり、クラシックの分野では国内さまざまなオーケストラの客演首席奏者として出演している。歌も歌えるヴィオラ奏者として、大阪城ホールや日本武道館等、全国各地のホールでの歌唱の経験もあり。題名のない音楽会などのテレビ出演や、高嶋ちさ子「ゆかいな音楽会」メンバーとして、また硬派弦楽アンサンブル「石田組」組員として全国各地で演奏を行っている。日本クラシック音楽コンクール全国大会審査員。



チェロ
宇野 健太
うの けんた

日田市生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、ウィーン私立音楽芸術大学を最優秀の成績で卒業ならびに同大学院を最優秀の成績で修了。またグラーツ国立音楽大学現代音楽演奏学科にて「クラフフォーラム・ウィーン」のもとで現代音楽の演奏法を学ぶ。チェロをこれまでに金木博幸、山崎伸子、河野文昭、W.シュルツ、C.オッテンザマー、B.ヴァインマイスター、F.バルトロメイの各氏に師事。2017年、クライベダ国際チェロコンクール第2位、同年パドヴァ国際音楽コンクール弦楽器部門第1位、総合部門第2位を獲得。これまでにソリストとして東京並びに北上にてドヴォルザークチェロ協奏曲、ウィーン・コンツェルトハウスにてジェンキンスの「武装した男」、クライベダ室内管弦楽団と佐藤聡明の「RUIKA」、品川フィルハーモニー・アンサンブルとルトスワフスキの「グラヴェ」、ハイドンのチェロ協奏曲、大分ジュニアオーケストラとチャイコフスキーの「ロココ風の主題による変奏曲」を演奏するほか、ルクス音楽祭、シオン音楽祭、サンクト・パウロ音楽祭などのヨーロッパの音楽祭への出演も果たした。2020年より九州を拠点にソリスト、室内楽奏者として活動。



指揮 〈合唱指導〉
新見 準平
にいみ じゅんぺい

大分県立芸術緑丘高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。オーストリア、オランダにて研鑽を積む。2009年東京労音「第九」公演にてデビューし、ソリストとして国内外の公演に出演するほか、パッハコレギウムジャパンのメンバーとしても海外ツアー、録音に参加。2021年福岡ソフトバンクホークス「鷹の祭典」にて「いざ行け若鷹軍団」を歌唱し九州交響楽団と共演。2023年小澤征爾音楽塾、セイジョザワ松本フェスティバル「ラ・ボエーム」などに出演。近年、各地で指揮者としての活動も目覚ましく、大分では混声合唱団「はじめ」、大分中央合唱団、ジョリーカンパニーウインドアンサンブル、シંગインメサイア大分指揮者。SAIKI 第九プロジェクト合唱指導者。他に声楽や合唱のコンクールに審査員として招かれ、音楽祭のプロデュースやテレビCMへの出演など、その幅広い活動は常に注目を集める。大分二期会理事。全日本高等学校声楽コンクール運営諮問委員。大分県立芸術文化短期大学非常勤講師。
(R6 市民参加の合唱)
コンパルホール「天の花」市民合唱団



ピアノ 〈舞台「天の花」全編作詞作曲・脚本・演出・総合プロデュース〉
渡邊 智道
わたなべ ともみち

別府市出身。
2019年、1stアルバム「渡邊智道 パッハ&ショパン」をリリース。使用楽器は、1887年製ニューヨーク・スタインウェイ'ロズウッド'。2021年、2ndアルバム「Classic Recording」をリリース。使用楽器は、1912年製ニューヨーク・スタインウェイ'CD75'。歌曲や合唱曲、室内楽曲の作曲にも取り組む。